課目名：理容実習　　シェービングⅢ　課目コード：J142　フェイストリートメントⅡ課目コード：J151
単位名：理容科　ヘアデザイン　ブライダルシェービングエステ
1．5単位（45単位時間）シェービングⅢ　1単位（30単位時間）フェイストリートメントⅡ
開講時期：2学年（前期後期）
担当教員：長瀬達雅　真吉一巳　福本雅彦　奥林正貴

●課目授業の目的と学生の達成目標：

シェービングは危険を伴う技術なので、刃物の持ち方、操作を十分に理解する。
又、皮膚・髭についても理解が必要。

●成績評価の方法：

準備、スチーミング及びラザーリング。

●教材・ならびに教育方法：

相モデル実習

●特に必要な教育方法、講師、協力企業等：

●この課目の今後の展開

メンズグルーミングの傾向に向いている。今後、髭のデザインなども必要になってくる。

●備考

回	時限	授業内容・授業方法	実務経験のある教員
1～2	4	相モデル実習（刃を入れる）・ウィッグと人間の違いを理解する。 安全性と正確性	
3～4	4	相モデルトレーニング 実際に刃を入れての安全性と正確性の確認	
5～6	4	相モデルテスト	
7～17	34	相モデル実習　　（実際にサロン営業で役に立つ技術の修）	
18～20	4	相モデル確認テスト。（進捗状況に合わせ補講を行う）	

シェービングテスト項目
準備　　5～15点
スチーミング・ラザーリング 5～20点
ワンシェービング（手順・レザー操作・姿勢）　5～35点
クリーム塗布・拭き取り（手順・姿勢）5～30点

回	時限	授業内容・授業方法	実務経験のある教員
1	4	マッサージクリーム塗布。エフルラージュ 頸部マニュピレーション。フリクション、リンパドレナージュ。	
2	4	顔面部マニュピレーション。フリクションとプレシヨン 目の周り。プレシヨンとポワンテ。	
3	4	額から頬部、オトガイ部。 エフルラージュ、ルールマン、パンスマンジャケ、エバンタイユ。 鎮静まで。	
4～11	16	相モデル反復練習	
12	2	確認テスト	